

簿記入門

- 簿記とは
- 貸借対照表
- 損益計算書
- 取引と勘定
- 仕訳・転記

はじめに
簿記とは
簿記の目的
簿記の五つの要素
貸借対照表
財産法
損益計算書
損益法
取引の意味
勘定と勘定口座
勘定の記入方法
取引の分解と勘定記
仕訳
転記
仕訳帳
総勘定元帳

もうすぐ学園祭です。A組は、恒例のカレー屋を出店します。

1 簿記とは（1 はじめに）

伝統のカレー屋を引き継いだ1年A組の会計の方法を通して一緒に簿記を勉強していきましょう。

先生：

「もうすぐ学園祭です。A組は恒例のカレー屋を出店します」

「ここにある、先輩達の資料を参考にしてね」

資料はこの箱の中だよ。

損益計算書
平成18年4月1日～平成19年3月31日
広告料 商品売買益
料 当期純損失

貸借対照表
平成19年3月31日
現金 資本金
当期純損失

計画書
仕入れ個数 300個
仕入れ価格 64200
販売価格 64300
宣伝広告 25,000
給 料 10,000

引き継いだ資料を見てみると、去年は赤字だったことがわかりました。

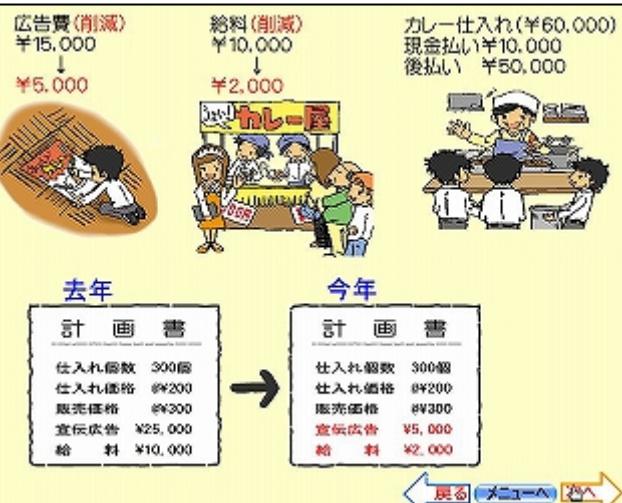
今年の計画は・・・



今年の計画は・・・

生徒A「去年は赤字でしたので・・・」

生徒B「今年は経費を控えたいと思います」



赤字の原因を分析し、今年は宣伝広告代とアルバイトの給料を改善することにしたようです。

売上
¥90,000
さて、利益はあがったかな？



2日間の学園祭が無事終了し、カレーは完売。儲けを出すことが出来たのでしょうか。

カレー屋の収支表				
日付	項目	収入	支出	残高
4/1	歳暮	10,000		10,000
4/1	学級費から借入	20,000		30,000
12/2	広告料		5,000	25,000
12/3	カレ一代の一部		10,000	15,000
12/6	売上	90,000		105,000
12/7	給料		2,000	103,000
12/7	カレ一代の残り		50,000	53,000
12/7	学級費の返済		20,000	33,000

こづかい帳では、現金の出入りしかわかららないね。

カレー屋を例に見てみましょう。

『カレーを60,000円分買って、現金で10,000円払い 残り60,000円は後日払う。』

こづかい帳では
現金 10,000円減
現金が減ったことだけを記録

企業の簿記では
カレー 60,000円増
いっぽうで 現金 10,000円減
借金 50,000円増
財産・借金の増減も記録

左側のカレー屋の収支表
右側の企業の簿記
赤い矢印で示すところが、現金以外の要素が記録されている箇所

戻る メニューへ 次へ

『カレを60,000円分買って、現金で10,000円払い 残り60,000円は後日払う。』

こづかい帳では 現金 10,000円減 現金が減ったことだけを記録	企業の簿記では カレ 60,000円増 いっぽうで 現金 10,000円減、 借金 50,000円増 財産、借金の増減も記録
---	--

「單式簿記」

日付 旗 日 期入 期出 期差
4/1 借入 10,000 10,000
4/2 借入 10,000 10,000
4/3 代引き入 10,000 10,000
4/4 借入 10,000 10,000
4/5 借入 10,000 10,000
4/6 借入 10,000 10,000
4/7 借入 10,000 10,000
4/8 借入 10,000 10,000
4/9 借入 10,000 10,000
4/10 借入 10,000 10,000
4/11 借入 10,000 10,000
4/12 借入 10,000 10,000
4/13 借入 10,000 10,000
4/14 借入 10,000 10,000
4/15 借入 10,000 10,000
4/16 借入 10,000 10,000
4/17 借入 10,000 10,000
4/18 借入 10,000 10,000
4/19 借入 10,000 10,000
4/20 借入 10,000 10,000
4/21 借入 10,000 10,000
4/22 借入 10,000 10,000
4/23 借入 10,000 10,000
4/24 借入 10,000 10,000
4/25 借入 10,000 10,000
4/26 借入 10,000 10,000
4/27 借入 10,000 10,000
4/28 借入 10,000 10,000
4/29 借入 10,000 10,000
4/30 借入 10,000 10,000
4/31 借入 10,000 10,000

「複式簿記」

日付 旗 期 期入 期出 期差
4/1 現金取扱金 10,000 10,000
4/2 期初代金 10,000 10,000
4/3 期中代金 10,000 10,000
4/4 期末代金 10,000 10,000

販売金

日付 旗 期 期入 期出 期差
4/1 期初代金 10,000 10,000
4/2 期中代金 10,000 10,000
4/3 期末代金 10,000 10,000

◀戻る メニューへ 次へ ▶

このように、特別なルールもなく、単純に現金の増減を記録した、こづかい帳や家計簿の形式を「单式簿記」と言います。

それに対して、取引によって、変動のあった事柄すべてを一定のルールにしたがって記録する企業の形式を「複式簿記」と言います。

簿記の目的は、

1. 一定時点の財政状態（財産の状態）
2. 一定期間の経営成績（もうけの原因）
を明らかにする

財政状態を明らかにすること

一定の特徴でどれだけの財産や借金、正味財産がいくらあるかを明らかにすること。

簿記の目的は、
次の2つだよ！



◀戻る メニューへ 次へ ▶

1 簿記とは（3 簿記の目的）

何のために、簿記で「記録・計算・整理」するのでしょうか？

簿記の目的は2つ。

一定時点の財政状態。つまり、一定の時点でどれだけの財産や借金があるのかという財産の状態を明らかにすること。

簿記の目的は、

1. 一定時点の財政状態（財産の状態）
2. 一定期間の経営成績（もうけの原因）
を明らかにする

経営成績を明らかにすること

一定の期間でどれだけ利益をあげたか明らかにすること。

簿記の目的は、
次の2つだよ！



◀戻る メニューへ 次へ ▶

そして、一定期間の経営成績。つまり、一定の期間でどれだけの利益を上げることが出来たのか、また、その利益の原因を明らかにすることです。

<p>簿記とは つ3.簿記の目的 会計文書 換算計算書 取引と設定 仕訳・帳記</p> <p>簿記の前提条件</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 会計単位 簿記が記録・計算・整理の対象とする範囲のこと。企業の経営活動に關係する金銭・物品が対象です。 2. 会計期間 経営活動の記録を行う期間 3. 貨幣金額表示 帳簿に記入する際の共通の尺度、貨幣金額で表示ができるものは扱いません。 <p>簿記で記録するための、前提条件が3つあります。</p>  <p>次へ STOP PLAY MENU 戻る</p>	<p>簿記で記録するための、前提条件が3つあります。</p> <p>①会計単位 簿記が記録・計算・整理の対象とする範囲のこと。企業の経営活動に關係する金銭・物品が対象です。</p> <p>②会計期間 経営活動の記録を行う期間</p> <p>③貨幣金額表示 帳簿に記録する際の共通の尺度。貨幣金額で表示できないものは扱いません。</p>
<p>会計期間</p>  <p>企業は倒産しない限り続くよね。カレー屋も10年続いているんだ。</p> <p>戻る メニューへ 次へ</p>	<p>会計期間についてカレー屋を例に説明しましょう。</p> <p>簿記では、企業は倒産しない限り永遠に続くことを前提に活動を記録しています。</p> <p>伝統のカレー屋も、学校創立以来10年続けています。</p> <p>そこで、財政状態や経営成績は期間を区切って明らかにします。</p>
<p>会計期間</p>  <p>この区切った期間を「会計期間」と言って、通常1年間としている企業が多いです。</p> <p>この期間を「会計期間」と言って、1年を期間としている企業が多いよ。</p> <p>戻る メニューへ 次へ</p>	

会計期間

会計期間の開始日を「期首」、最終日を「期末」といいます。

財政状態は日々変化するので、「いつの財政状態」というように、一定時点の日付で表します。

それに対して、経営成績は「いつからいつまでの経営成績」というように一定期間で表します。

「簿記とは」のまとめ

問1. 企業の簿記とはどのようなものですか？
解答

問2. 簿記の目的は何ですか？
解答

問3. 簿記の前提条件何ですか？
解答

「簿記とは」のまとめ

問1. 企業の簿記とはどのようなものですか？
解答 一定のルールに従って記録・計算・整理する複式簿記を指す。

問2. 簿記の目的は何ですか？
解答 ①一定時点の財政状態を明らかにすること
②一定期間の経営成績を明らかにすること

問3. 簿記の前提条件何ですか？
解答 ①会計単位
②会計期間
③貨幣金額表示

※解答をクリックすると解答が表示されます。

簿記の五つの要素

「財政状態」と「経営成績」を明らかにするために・・・

日々の経営活動(取引)	五要素
・ビルを建てた ・現金の受け取り・支払い ・銀行から借入れした ・出資してもらった ・商品が売れた ・給料を払った	<ul style="list-style-type: none"> ・ビル 資産 ・現金 資産 ・借入れ 負債 ・元入れ 資本 ・もうけ 収益 ・給料 費用

「財政状態」と「経営成績」を明らかにするために日々の経営活動を五つの要素にわけます。

2 貸借対照表〈1 簿記の五つの要素〉

「財政状態」と「経営成績」を明らかにするために、簿記では、日々の活動を五つの要素に分類しています。その五つの要素について勉強しましょう。五つの要素とは「財政状態」を明らかにするために必要な資産・負債・資本と「経営成績」を明らかにするために必要な、収益・費用の五つです。これを「簿記の五要素」といいます。

例えば、「ビルを建てた」、「現金を受け取った、支払った」といった場合の「ビル」や「現金」は資産に分類されます。また、「銀行から借入れした」場合の「借入れ」は負債、「出資した」場合の「出資」は「資本」、「商品を売った儲け」は「収益」、「給料を払った」ときの「給料」は「費用」といった具合です。

資産・負債・資本

資産	企業が所有する財産のこと
負債	将来、支払わなければならない借金のこと
資本	資産総額から負債総額を引いた残り（純資産）のこと



戻る メニュー 次へ

五つの要素のうち、「財政状態」を明らかにするのが、資産・負債・資本の3つです。

「資産」は、企業が所有する財産のことで、具体的には、「現金」、「備品」「商品」、「土地」などの財貨や、「貸付金」、「売掛金」などの債権があります。

「負債」は、将来支払わなければならない借金のことで、具体的には「買掛金」や「借入金」があります。

「資本」は、資産総額から負債総額を引いた残り純資産のことで、具体的には「資本金」があります。

資産・負債・資本

資産	貸付金	売掛金	現金	備品	商品	土地
負債	将来、支払わなければならない借金のこと					
資本	資産総額から負債総額を引いた残り（純資産）のこと					



戻る メニュー 次へ

2 貸借対照表（2 貸借対照表）

財政状態といえば、財産の状態です。資産と負債と資本から次の式が成り立ち、資本を求めるこの式を「資本等式」といいます。

$$\text{資産} - \text{負債} = \text{資本}$$

Macromedia Flash Player 8
ファイル 表示 リンク ヘルプ
現在地 貸借対照表 ⇒ 2 貸借対照表 前回計算書 取引登録 仕訳・転記

貸借対照表（B/S）

貸借対照表		
平成12年4月 1日		
現金	借入金	20,000
資本金		10,000
30,000		30,000

財政状態といえば
財産の状態だ。資
産と負債で次の式
が成り立つよ。

戻る STOP PLAY MENU 次へ

貸借対照表（B/S）

資本等式の負債を右に移して変形した式を「貸借対照表等式」といいます。

貸借対照表（B/S）

貸借対照表等式は、貸借対照表という報告書の中身を表しています。

資産・負債・資本から作られる貸借対照表は、一定時点の財政状態を表した報告書です。貸借対照表を作ることで、企業の財政状態が明らかになるというわけです。

財産法とは

2 貸借対照表（3 財産法）

貸借対照表は資産、負債、資本で表されました。カレー屋の貸借対照表を見てみましょう。

財産法とは

貸借対照表		
平成19年4月 1日		
現金	借入金	資本金
30,000	20,000	10,000
30,000	20,000	10,000

貸借対照表		
平成19年3月31日		
現金	借入金	資本金
33,000	10,000	33,000
33,000	10,000	33,000



戻る メニュー 次へ

まず、期首 4/1 の貸借対照表から見てみましょう。

4/1 の現金残高¥30,000 が資産

学級費の借り入れ¥20,000 が負債

資産から負債を引いた残り¥10,000 が資本を表しています。

次に、期末 3/31 の貸借対照表を見てみましょう。

3/31 の現金残高¥33,000 が資産

学級費の借入は返済したので、負債はありません。

資産から負債を引いた残り¥33,000 が資本を表しています。

財産法とは

貸借対照表		
平成19年4月 1日		
現金	借入金	資本金
30,000	20,000	10,000
30,000	20,000	10,000

貸借対照表		
平成19年3月31日		
現金	借入金	資本金
33,000	10,000	33,000
33,000	10,000	33,000

現金が
¥30,000 → ¥33,000
借入金が
¥20,000 → ¥0
資本金が
¥10,000 → ¥33,000



戻る メニュー 次へ

会計期間の開始日、期首の貸借対照表と会計期間の最終日、期末の貸借対照表を比べ、1年間の経営活動の結果、資産、負債、資本の変化を見てみましょう。

資産が増え、負債が減り、資本が増えています。

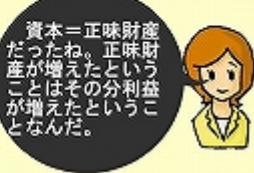
財産法とは

貸借対照表		
平成19年4月 1日		
現金	借入金	資本金
30,000	20,000	10,000
30,000	20,000	10,000

貸借対照表		
平成19年3月31日		
現金	借入金	資本金
33,000	10,000	33,000
33,000	10,000	33,000

資産 - 負債 = 資本（正味財産）

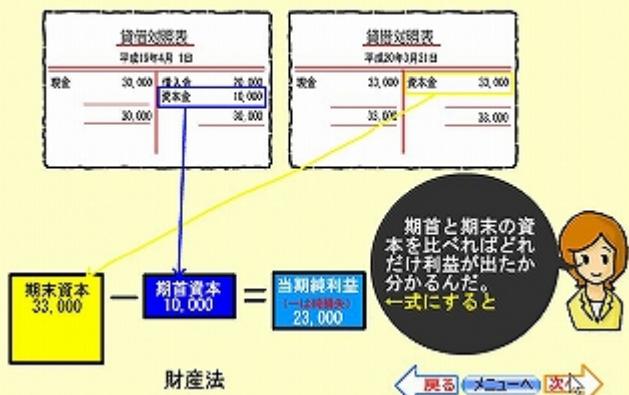
資本金が
¥10,000 → ¥33,000
¥23,000の増加(利益)



戻る メニュー 次へ

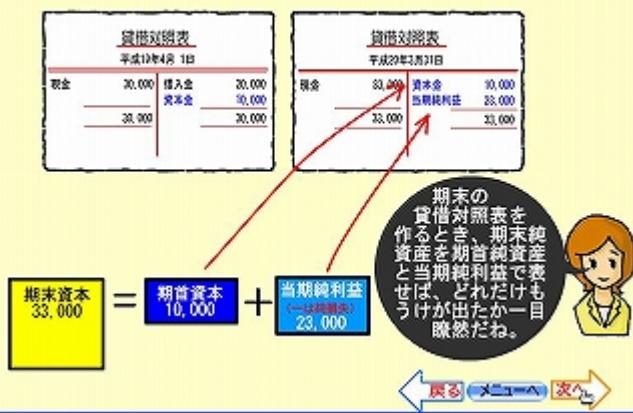
資本というのは、資産から負債を除いた純資産です。期首より期末の純資産が多いと言うことは、その分利益が出たと言うことになります。

財産法とは



期首と期末の資本を比べることで、どれだけ利益が上がったかを計算することが出来るのです。式で表すと次のようになり、この方法で利益の計算を行うことを「財産法」といいます。

財産法とは



「財産法」の式を変形させると、次のようにになります。

つまり、期末の資本は期首の資本に当期純利益を加えたものと言うことになります。

期末の貸借対照表の資本の部分は、このように入れ替えることができ、期首の資本と当期純利益で表すことになっています。このように表示することで、どれだけの利益が出たのか一目瞭然というわけです。



先輩から引き継いだ資料の、貸借対照表を思い出してみましょう。去年は赤字、つまり当期純損失が出ていましたね。当期純損失は当期純利益とは反対に、貸借対照表の左側に記入され、期首の資本が減少することを意味します。

<p>収益と費用</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="background-color: #008000; color: white; padding: 5px;">収益</td><td>・資本の増加の原因となることから ・企業の収入</td></tr> <tr> <td style="background-color: #FF0000; color: white; padding: 5px;">費用</td><td>・資本の減少の原因となることから ・企業の経費</td></tr> </table> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  ◀ 戻る メニューへ 次へ ▶ </div>	収益	・資本の増加の原因となることから ・企業の収入	費用	・資本の減少の原因となることから ・企業の経費	<p>3 損益計算書（1 損益計算書）</p> <p>五つの要素のうち「経営成績」を明らかにするために必要な要素は「収益」と「費用」です。</p> <p>「収益」とは、資本の増加の原因となる事柄で企業の収入を表します。</p> <p>具体的に見てみましょう。</p>				
収益	・資本の増加の原因となることから ・企業の収入								
費用	・資本の減少の原因となることから ・企業の経費								
<p>簿記とは 貸借対照表 ⇒3財産法</p> <p>損益計算書 売上と販促 仕証・帳記</p> <p>「貸借対照表」のまとめ</p> <p>問1. 簿記の五つの要素は何ですか？</p> <p>解答</p> <p>問2. 貸借対照表とは何ですか？</p> <p>解答</p> <p>問3. 財産法とは何ですか？</p> <p>解答</p> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;"> ◀◀ STOP PLAY MENU ▶▶ </div>	<p>簿記とは 貸借対照表 ⇒3財産法</p> <p>損益計算書 売上と販促 仕証・帳記</p> <p>「貸借対照表」のまとめ</p> <p>問1. 簿記の五つの要素は何ですか？</p> <p>解答 ①財政状態を表す → 資産・負債・資本 ②経営成績を表す → 収益・費用</p> <p>問2. 貸借対照表とは何ですか？</p> <p>解答 一定時点の財政状態についての報告書</p> <p>問3. 財産法とは何ですか？</p> <p>解答 抜首の資本と期末の資本を比較して純損益を求める方法</p> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;"> ◀◀ STOP PLAY MENU ▶▶ </div> <p>※解答をクリックすると解答が表示されます。</p>								
<p>収益と費用</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="background-color: #008000; color: white; padding: 5px;">収益</td> <td style="background-color: #FF8C00; color: black; padding: 5px;">商品売買益</td> <td style="background-color: #FF8C00; color: black; padding: 5px;">受取手数料</td> <td style="background-color: #FF8C00; color: black; padding: 5px;">受取利息</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #FF0000; color: white; padding: 5px;">費用</td> <td colspan="3">・資本の減少の原因となることから ・企業の経費</td> </tr> </table> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  ◀ 戻る メニューへ 次へ ▶ </div>	収益	商品売買益	受取手数料	受取利息	費用	・資本の減少の原因となることから ・企業の経費			<p>具体的には、「収益」には、「商品売買益」、「受取利息」、「受取手数料」などがあります。</p> <p>「費用」とは、資本の減少の原因となる事柄で企業の経費を表します。</p> <p>具体的に見てみましょう</p> <p>「費用」には、「給料」、「広告料」、「交通費」、「通信費」、「水道光熱費」、「支払利息」、「支払家賃」などがあります。</p>
収益	商品売買益	受取手数料	受取利息						
費用	・資本の減少の原因となることから ・企業の経費								

損益計算書（P/L）

損益計算書	
平成15年4月 1日～平成20年3月31日	決算期終日
益合計	5,000
経費	2,000
当期純利益	3,000
	30,000
	30,000

経営成績=もうけ
収入から経費を引いた残りだと想像できるかな？

収益
(収入)

費用
(経費)

=

当期純利益
(一括表示)



戻る メニューへ 次へ

簿記のもう一つの目的である「経営成績を明らかにする」ということについて説明しましょう。

経営成績とは、企業の利益を表しますが、前で学んだように、期首と期末の貸借対照表から、利益を求める事ができました。

しかし、貸借対照表では、発生原因までは明らかにすることはできません。

利益の原因は、「収益」と「費用」で表すことができ、式で表すと次のようにになります。

損益計算書（P/L）

損益計算書	
平成15年4月 1日～平成20年3月31日	決算期終日
益合計	5,000
経費	2,000
当期純利益	3,000
	30,000
	30,000

この式を変形すると
損益計算書等式
になります。

収益
(収入)

費用
(経費)

=

損益計算書等式

戻る メニューへ 次へ

この式を変形すると、次のようになります。これを「損益計算書等式」と言います。

損益計算書（P/L）

損益計算書	
平成15年4月 1日～平成20年3月31日	決算期終日
益合計	5,000
経費	2,000
当期純利益	3,000
	30,000
	30,000

損益計算書等式
は「損益計算書」
を示している。

費用
(経費)

+

当期純利益
(一括表示)

=

収益
(収入)



損益計算書等式

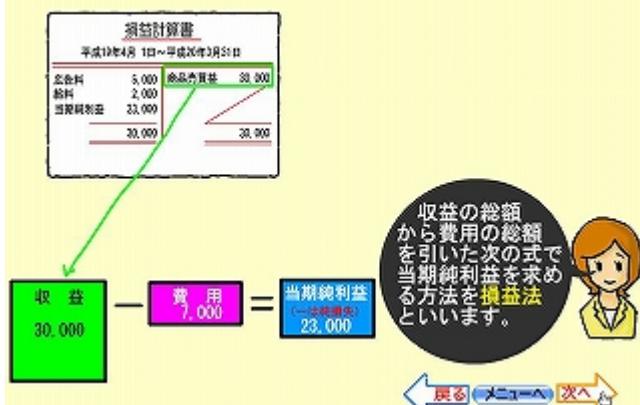
戻る メニューへ 次へ

損益計算書等式は損益計算書の中身を表しています。

「損益計算書」は簿記のもう一つの目的である「経営成績を明らかにした」報告書です。

損益計算書を作成することで、企業の経営成績と利益の原因を明らかにすることができるのです。

損益法とは



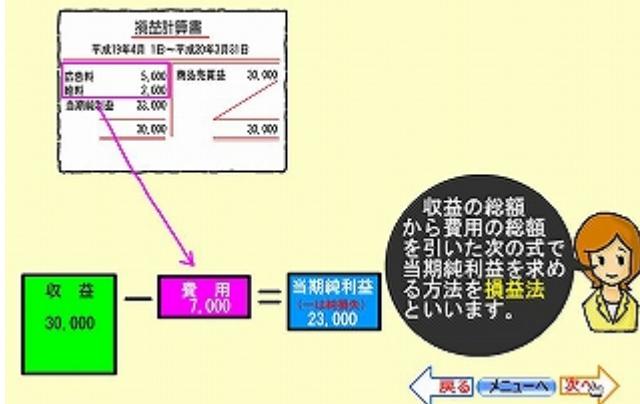
3 損益計算書（2 損益法）

損益計算書は、収益、費用、そして収益から費用を引いて出た当期純利益、あるいは当期純損失で表されました。カレー屋の損益計算書を見てみましょう。

収益は企業の収入ですから、商品を売った儲けである「商品売買益」が収益です。

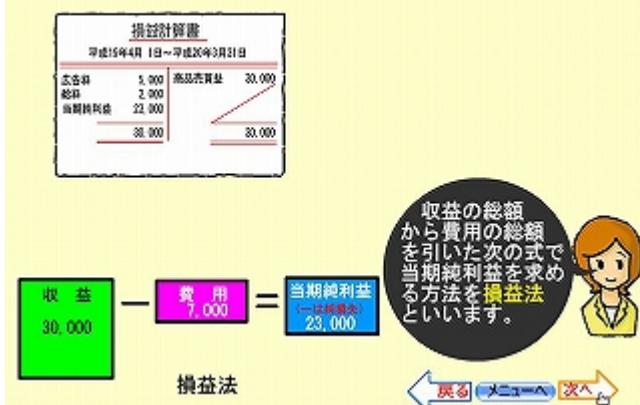
「商品売買益」は、カレーの売り上げ¥90,000から仕入れた代金¥60,000を引いた残り¥30,000になります。

損益法とは



費用は、経費ですから、ポスターの材料費として使った「広告料」、アルバイトへ支払った「給料」がそれにあたります。

損益法とは



収益の総額から費用の総額を引いた次の式で当期純利益を求める方法を「損益法」と言います。

損益計算書
平成18年4月1日～平成18年3月31日

広告料	商品売買益
給 料	当期純損失

貸借対照表
平成18年3月31日

現 金	資本金
当期純損失	

封 個
¥10,000

計 画 書

仕入れ個数 300個
仕入れ価格 ￥9200
販売価格 ￥9400
宣伝広告 ￥25,000
給 料 ￥10,000

資料はこの箱の中だよ。

戻る メニューへ 次へ

先輩から引き継いだ、資料の中にあった損益計算書を思い出してみましょう。

去年は赤字、つまり当期純損失が出ていましたね。

損益計算書では当期純損失は当期純利益とは反対の右側、収益と同じ欄に記入され収益より費用が多かったことを示します。

財産法と損益法

損益法

$$\text{期末資本 } 33,000 - \text{期首資本 } 10,000 = \text{当期純利益 } 23,000$$

財産法

$$\text{現金} - \text{資本金} = \text{当期純利益}$$

損益計算書
平成18年3月31日

現金	10,000	資本金	23,000
仕入料	20,000	販売料	23,000
支払利息	2,000	支払費用	2,000
合計	22,000	合計	23,000
当期純利益	2,000	当期純利益	2,000

「財産法」で求めた当期純利益と「損益法」で求めた当期純利益は同じ金額になるんだ。

戻る メニューへ 次へ

前に学習した期首と期末の資本を使い「財産法」で求めた「当期純利益」と今回、収益と費用を使い「損益法」で求めた「当期純利益」は同じ金額になります。

つまり、当期純利益・当期純損失は「財産法」と「損益法」の二つの方法で求めることができます。どちらで求めても金額は一致するのです。

「損益計算書」のまとめ

問1. 損益計算書とは何ですか？

解答

問2. 損益法とは何ですか？

解答

戻る STOP PLAY MENU 次へ

「損益計算書」のまとめ

問1. 損益計算書とは何ですか？

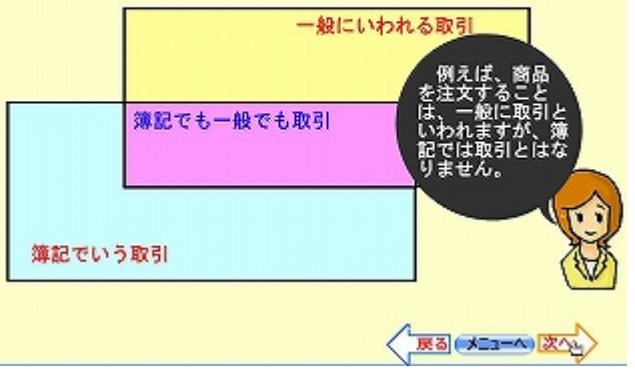
解答 一定期間の経営成績を明らかにした報告書

問2. 損益法とは何ですか？

解答 収益と費用から純損益を求める方法

戻る STOP PLAY MENU 次へ

*解答をクリックすると解答が表示されます。

<p>取引とは</p> 	<p>4 取引と勘定記入 〈1 取引の意味〉</p> <p>簿記の意味と目的は理解できましたか？</p> <p>ここからは、記帳のルールについて学んでいきます。</p> <p>簿記で記録するのは、まず、簿記で「取引」と判断されるものに限ります。</p> <p>簿記では、資産、負債、資本、収益、費用が増減するところを「取引」と判断するため、一般的な取引とは一致しない部分もあります。</p>
<p>取引とは</p> <p>？商品の注文</p> 	<p>例えば、商品を注文することは、一般に取引と言われます。</p> <p>しかし、この段階では、まだ簿記上の「取引」としては扱いません。商品を受け取ったときや、代金を支払った段階で初めて、簿記上の「取引」となるのです。</p>
<p>取引とは</p> <p>？火災による建物の損害</p> 	<p>逆に、「会社の建物が火事で焼けてしまった」と言う場合、一般には取引とは言いません。</p> <p>しかし、簿記では、「建物という財産が減少する出来事で、帳簿に記録する必要があり取引として扱います。」</p>

取引とは

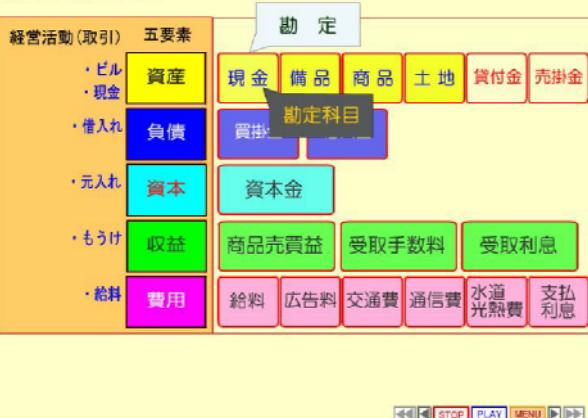


もちろん、商品の仕入れや売り上げ、銀行からの借り入れなど一般にも、簿記でも、取引と判断されるものもあります。

つまり、資産、負債、資本に変化をもたらす出来事は、帳簿に記録する必要があり、それを簿記では、取引と言うのです。

簿記 会計対照表 損益計算書 取引と勘定 ⇒ 2 勘定・勘定科目 [仕訳・転記]

勘定と勘定科目



4 取引と勘定（2 勘定と勘定口座）

貸借対照表や損益計算書の説明で、出てきた簿記の五要素を思い出してみましょう。

財産を表す「資産」、借金を表す「負債」、資産から負債を引いた「資本」

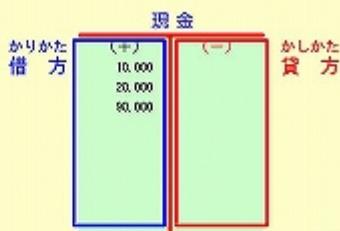
収入を表す「収益」、経費を表す「費用」の5つがありました。

この五要素をさらに細かく分けたのが「勘定」です。勘定を記録する場所を「勘定口座」といい、勘定につけられた名称を「勘定科目」といいます。

簿記では「勘定ごと」に記録・計算を行います。

勘定記入の方法

ガーデンの收支表			
日付	収入	支出	残高
4/1 創業	10,000		10,000
4/1 学校から借入	20,000		30,000
4/2 食料		5,000	25,000
4/2 会社の一部	10,000	15,000	10,000
4/3 光上	30,000	30,000	
4/7 飲料	2,000	30,000	28,000
4/7 会社の借入	50,000	30,000	60,000
4/7 学校からの返済	20,000	30,000	30,000



4 取引と勘定（3 勘定の記入方法）

お小遣い帳の形式を思い出してみましょう。

収入と支出の記入場所が決まっていますね。

簿記でも記入のルールが決まっています。

簿記では勘定口座ごとに計算を行いますが、勘定口座を左右の2つの欄に分け、一方をプラスもう一方をマイナスと決めておきます。プラスは取引による増加を示し、マイナスは減少を示します。

この欄の左を借方、右を貸方といいます。

勘定記入の方法

The diagram illustrates the rules for recording accounting entries across five categories:

- 資産 (Assets):** Increases (+) are recorded on the借方 (Debit) side, decreases (-) on the貸方 (Credit) side.
- 負債 (Liabilities):** Increases (+) are recorded on the貸方 (Credit) side, decreases (-) on the借方 (Debit) side.
- 資本 (Capital):** Increases (+) are recorded on the貸方 (Credit) side, decreases (-) on the借方 (Debit) side.
- 費用 (Expenses):** Increases (+) are recorded on the借方 (Debit) side, decreases (-) on the貸方 (Credit) side.
- 収益 (Income):** Increases (+) are recorded on the貸方 (Credit) side, decreases (-) on the借方 (Debit) side.

A central note states: "各勘定ごとに記入場所が決まっています。" (The location for recording each account is determined.)

Buttons at the bottom include: 前へ (Previous), 戻る (Back), STOP, PLAY, MENU, 次へ (Next).

現金以外にも、全ての勘定で記入場所が決まっています。確認してみましょう。

現金や売掛金など資産勘定は借方に増加、貸方に減少

買掛金や借入金など、負債勘定は貸方に増加、借方に減少

資本金など資本勘定は貸方に増加、借方に減少

給料や支払利息など費用勘定は、借方に発生

受取利息など収益勘定は貸方に発生となっています。

勘定記入の方法と貸借対照表・損益計算書の関係

The diagram shows how accounting entries relate to financial statements:

- 資産 (Assets):** Increases (+) are recorded on the借方 (Debit) side, decreases (-) on the貸方 (Credit) side.
- 負債 (Liabilities):** Increases (+) are recorded on the貸方 (Credit) side, decreases (-) on the借方 (Debit) side.
- 資本 (Capital):** Increases (+) are recorded on the貸方 (Credit) side, decreases (-) on the借方 (Debit) side.
- 費用 (Expenses):** Increases (+) are recorded on the借方 (Debit) side, decreases (-) on the貸方 (Credit) side.
- 収益 (Income):** Increases (+) are recorded on the貸方 (Credit) side, decreases (-) on the借方 (Debit) side.

Arrows indicate the flow from accounting entries to the 貸借対照表 (Balance Sheet) and 損益計算書 (Income Statement).

Buttons at the bottom include: 戻る (Back), メニュー (Menu), 次へ (Next).

勘定の増加や発生の記入場所がわかれば、減少した場合は反対側に記入すると覚えればよいのです。

では、勘定の増加や発生の記入場所はどのように決まっているのでしょうか。

資産、負債、資本勘定の増加の記入は、それぞれの勘定が貸借対照表で、借方・貸方のどちらに表示されるかに基づいて決められています。

収益、費用の発生の記入は、それぞれの勘定が、損益計算書で借方・貸方のどちらに表示されるかということに基づいています。

取引の分解と勘定記入

取引1
商品￥60,000を仕入れ、代金は現金で￥10,000支払い、残り￥50,000は掛けにした。

取引の分解
商品（資産）￥60,000の増加

勘定記入
商品（資産）
60000

取引の結合関係

Buttons at the bottom include: 戻る (Back), メニュー (Menu), 次へ (Next).

4 取引と勘定 < 4 取引の分解と勘定記入 >

ここでは、取引の内容を実際に勘定口座に記入してみます。まず、取引を分解し、それを元に各勘定口座に記入していきます。

商品￥60,000 分を仕入れ、代金は現金で￥10,000 支払い、残り￥50,000 は掛けにした。という取引を例に行ってみましょう。

まず、商品について見ていきます。
商品は資産です。商品を仕入れると言うことは、商品である資産が増加するということになります。

資産が増加した場合は借方に記入します。

取引の分解と勘定記入

取引1
商品￥60,000を仕入れ、代金は現金で￥10,000支払い、残り￥50,000は掛けにした。

取引の分解
商品（資産）￥60,000の増加 現金（資産）￥10,000の減少
買掛金（負債）￥50,000の増加

勘定記入

商品（資産） 60,000	現金（資産） 10,000
買掛金（負債）	50,000

取引の結合関係

戻る メニュー 次へ

次に、現金￥10,000について見ていきます。現金は資産です。現金を支払うことは資産の減少になります。

資産の減少は貸方に記入します。

最後に、掛けについてみていきます。

商品を仕入れた掛けは買掛金です。買掛金は負債です。支払代金を掛けにするということは、負債の増加になります。

負債の増加は、貸方に記入します。

このように、取引は、必ず借方と貸方の取引要素が対立して結びついています。

これは「取引の二面性」といって、複式簿記の大きな特徴です。

また、左側、借方の金額と右側、貸方の金額は必ず等しくなり、これを「貸借平均の原理」ます。

取引の結合関係

戻る メニュー 次へ

取引の結合関係は勘定の記入のルールに基づいていて

左側の

資産の増加 負債の減少 資本の減少
費用の発生 と

右側の

資産の減少 負債の増加 資本の増加
収益の発生

の8つの要素の左右が結びついて成り立っています。

ただし、左側の要素だけ、あるいは右側の要素だけが結びつくことは絶対にありません。

<p>「取引と勘定記入」のまとめ</p> <p>問1. 勘記上の取引となる条件は何ですか？ 解答</p> <p>問2. 各勘定の増加・発生の記入は何にもとづいていますか？ 解答</p> <p>問3. 取引の二面性とは何ですか？ 解答</p> <p>問4. 貸借平均の原理とは何ですか？ 解答</p>	<p>「取引と勘定記入」のまとめ</p> <p>問1. 勘記上の取引となる条件は何ですか？ 解答 勘記の五つの要素に増減や発生をもたらす場合</p> <p>問2. 各勘定の増加・発生の記入は何にもとづいていますか？ 解答 貸借対照表、損益計算書のどちら側に記入されるかにもとづく。</p> <p>問3. 取引の二面性とは何ですか？ 解答 取引は必ず資産・負債・資本の増加・減少、収益・費用の発生の要素が対立して結びいている。</p> <p>問4. 貸借平均の原理とは何ですか？ 解答 1つの取引を勘定口座に記入した場合の「借方」と「貸方」の金額は必ず等しい。よって、すべての取引を合計した場合も「借方の合計」と「貸方の合計」金額は等しくなる。</p>
--	--

仕訳

〈取引〉 商品￥60,000を仕入れ、代金は現金で￥10,000支払い、残り￥50,000は掛けにした。

〈分解〉 分解は、頭の中でおこなう作業なので勘定記入の誤りを確認するのは記憶にたよるしかないのです！

〈勘定記入〉

欠点 記入物が多い！ 誤りが出ててもわかりにくい！

5 仕訳と転記（1 仕訳）

これまで、取引が発生すると、取引を分解して、各勘定口座に直接記入してきました。

しかし、この方法では、記入漏れや誤りが生じても、簡単に確認することができません。

そこで、取引について誰が記入しても同じになり、誰が見ても同じ解釈になるよう、記録をしておくと良いのです。

仕訳

〈取引〉 商品￥60,000を仕入れ、代金は現金で￥10,000支払い、残り￥50,000は掛けにした。

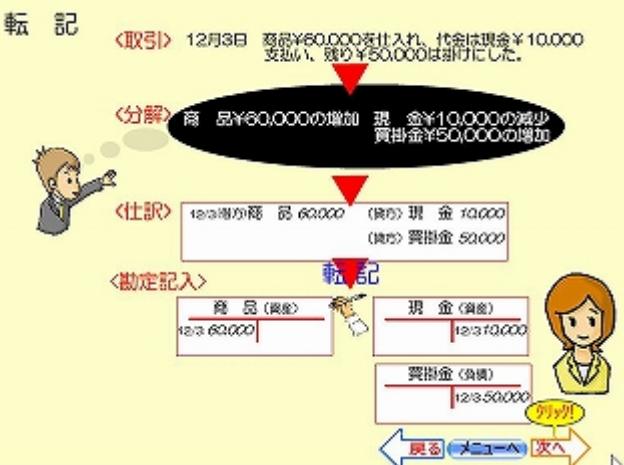
〈分解〉 商品￥60,000の増加 現金￥10,000の減少
買掛金￥50,000の増加

〈仕訳〉

〈勘定記入〉

記録するためには、まず取引の分解をもとに、「勘定科目が何か、借貸どちらに記入するか、そして金額はいくらになるか」を決めなければなりません。この手続きを仕訳といいます。

仕訳は取引を発生順に記録し、勘定口座への記入を正しく行うために必要な手続きです。



5 仕訳と転記（2 転記）

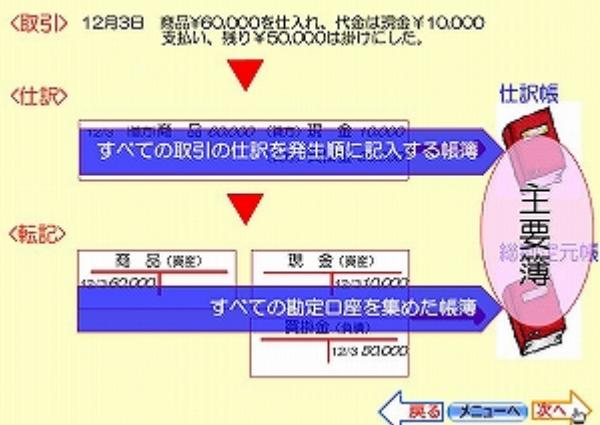
仕訳にもとづいて各勘定口座へ記入する手続きを転記といいます。

転記は次のように行います。

まず、仕訳の借方の勘定科目について、その勘定口座の借方に日付と金額を記入します。

次に、仕訳の貸方の勘定科目について、その勘定口座の貸方に日付と金額を記入します。

取引の記帳



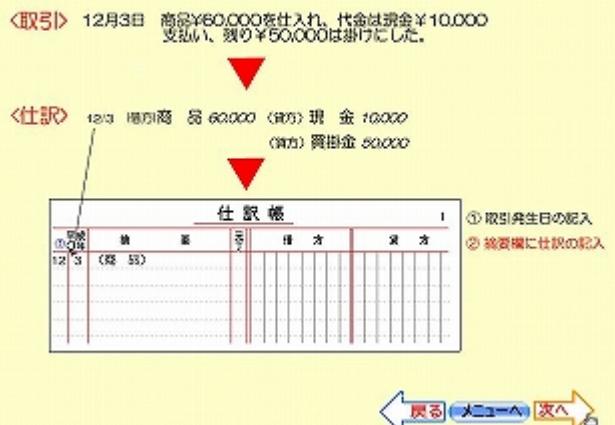
5 仕訳と転記（3 仕訳帳）

取引が発生すると、これを仕訳して、勘定口座へ転記する方法を学びました。この仕訳を記入する帳簿を仕訳帳と言います。

また、全ての勘定口座を集めた帳簿を総勘定元帳、略して元帳といいます。

仕訳帳と総勘定元帳は、全ての取引が記入される大切な帳簿です。このことから二つの帳簿を主要簿といいます。

仕訳帳の記入



ここでは、仕訳帳の記入の仕方について説明します。

仕訳帳の記入の手順は、日付、摘要、金額、元丁欄の順に行います。

では、12/3 の取引を例に、仕訳帳に記入してみましょう。

まず、日付欄に取引の日付を記入します。

仕訳帳の記入

〈取引〉 12月3日 発品￥60,000を仕入れ。代金は現金￥10,000 支払い、残り￥50,000は掛けにした。

① 取引発生日の記入
② 摘要欄に仕訳の記入
③ 金額の記入

次に、摘要欄に勘定科目を記入していきます。借方から行いますが、摘要欄の左側にカッコをつけて記入します。

次に貸方です。摘要欄の右側に記入しますが、借方の次の行に記入します。

勘定科目の記入が終わったら、金額です。借方の￥60,000を勘定科目と同じ行に記入します。

貸方の金額も同じように行います。

仕訳帳の記入

〈取引〉 12月3日 高品￥60,000を仕入れ。代金は現金￥10,000 支払い、残り￥50,000は掛けにした。

① 取引発生日の記入
② 摘要欄に仕訳の記入
③ 金額の記入

最後に元丁欄ですが、ここは元帳への転記を終えた後に元帳のページ番号を記入します。

ここで、気をつけることは、勘定科目が2つ以上ある場合、勘定科目の上に「諸口」と記入することです。

仕訳帳の記入に仕方は理解できましたか？ 次は仕訳帳から総勘定元帳への転記の仕方にについて確認しましょう。

総勘定元帳の記入

① 摘要欄の欄間に日付を記入

5 仕訳と転記（4 総勘定元帳）

取引を仕訳した後、仕訳をもとに各勘定口座に転記してみましょう。

総勘定元帳への転記の手順は、日付、金額、摘要、仕丁の順に行います。

総勘定元帳の記入

仕訳帳									
年月	摘要	借方	金額	貸方	金額	年月	摘要	借方	貸方
12/3	(商品) 諸口		60000			10000			50000
	(現金)								
	CC加盟店から仕入れ								

商品									
年月	摘要	借方	金額	貸方	金額	年月	摘要	借方	貸方
12/3	諸口		60000						

現金									
年月	摘要	借方	金額	貸方	金額	年月	摘要	借方	貸方
12/3	諸口		60000						

買掛金									
年月	摘要	借方	金額	貸方	金額	年月	摘要	借方	貸方

戻る メニュー 次へ

それでは、12/3 の仕訳を転記してみましょう。

まず仕訳帳の借方の勘定科目から行います。借方の勘定科目は「商品」です。

「商品」勘定の借方に、取引の日付を記入し、金額欄に¥60,000 を記入します。

摘要欄には、仕訳したときの「商品」勘定の反対側の勘定科目を記入しますが、2つ以上ある場合は「諸口」と記入します。

総勘定元帳の記入

仕訳帳									
年月	摘要	借方	金額	貸方	金額	年月	摘要	借方	貸方
12/3	(商品) 諸口		60000			10000			50000
	(現金)								
	CC加盟店から仕入れ								

商品									
年月	摘要	借方	金額	貸方	金額	年月	摘要	借方	貸方
12/3	諸口	14	60000						

現金									
年月	摘要	借方	金額	貸方	金額	年月	摘要	借方	貸方
12/3	諸口	14	60000						

買掛金									
年月	摘要	借方	金額	貸方	金額	年月	摘要	借方	貸方

戻る メニュー 次へ

仕丁欄には、仕訳帳のページ数を記入します。

これで、「商品」勘定の転記は終了です。

ここで、転記が終了した印として、仕訳帳の元丁欄に「商品」勘定のページ番号を記入することを忘れてはいけません。

総勘定元帳の記入

仕訳帳									
年月	摘要	借方	金額	貸方	金額	年月	摘要	借方	貸方
12/3	(商品) 諸口		60000			10000			50000
	(現金)								
	CC加盟店から仕入れ								

商品									
年月	摘要	借方	金額	貸方	金額	年月	摘要	借方	貸方
12/3	諸口	14	60000						

現金									
年月	摘要	借方	金額	貸方	金額	年月	摘要	借方	貸方
12/3	諸口	14	60000						

買掛金									
年月	摘要	借方	金額	貸方	金額	年月	摘要	借方	貸方

戻る メニュー 次へ

同じように貸方の勘定科目を転記してみましょう。

まず、「現金」勘定です。「現金」勘定の貸方に日付を記入し、金額欄に¥10,000 を記入します。

摘要欄は「現金」勘定の反対側の勘定科目ですから、「商品」と記入します。

仕丁欄に仕訳帳のページ数「1」を記入し、仕訳帳の元丁欄に「現金」勘定のページ番号「1」を記入して終了です。

<p>総勘定元帳の記入</p> <p>① 営業債権の貸方に日付を記入 ② 営業勘定に会計の記入 ③ 現金収支の摘要欄に仕訳の科 目記入の手順 ④ 現金勘定の仕丁欄に仕訳の ページ数を記入 ⑤ 仕訳明の貸方に商品勘定の 口番号を記入 ⑥ 現金収支の貸方に日付を記入 ⑦ 現金勘定に会計の記入 ⑧ 現金収支の摘要欄に仕訳の 科目記入 ⑨ 現金勘定の仕丁欄に仕訳の ページ数を記入 ⑩ 仕訳明の元丁欄に現金勘定の 口番号を記入 ⑪ 現金収支の貸方に日付を記入 ⑫ 現金勘定に会計の記入 ⑬ 現金収支の摘要欄に仕訳の 科目記入 ⑭ 仕訳明の元丁欄に現金勘定の 口番号を記入</p>	<p>最後は「買掛金」勘定です。「買掛金」勘定の 貸方に日付を記入し、金額欄に¥50,000を記入し、 摘要欄には「商品」と記入します。</p> <p>仕丁欄は「1」、仕訳帳の元丁欄には「5」を 記入します。</p> <p>これで、12/3の取引のすべての勘定科目の転記 が終了です。</p> <p>転記の手順が身につくまで、繰り返し練習しま しょう。</p>
<p>ファイル② 表示② 集計② ヘルプ② 戻るとは 総勘定元帳 損益計算書 取引に勘定 仕訳・転記 ⇒ 5.総勘定元帳の記入方法</p> <p>「仕訳・転記」のまとめ</p> <p>問1. 仕訳とは何ですか？</p> <p>解答</p> <p>問2. 転記とは何ですか？</p> <p>解答</p> <p>問3. 仕訳帳とは何ですか？</p> <p>解答</p> <p>問4. 総勘定元帳とは何ですか？</p> <p>解答</p> <p style="text-align: right;">◀◀ STOP PLAY MENU</p>	<p>戻るとは 総勘定元帳 損益計算書 取引に勘定 仕訳・転記 ⇒ 5.総勘定元帳の記入方法</p> <p>「仕訳・転記」のまとめ</p> <p>問1. 仕訳とは何ですか？</p> <p>解答 取引を勘定口座に正確に記入するための準備作業で、取引の 内容から「勘定科目」と「金額」、「貸借のどちらに記入するか」 を決める手続。</p> <p>問2. 転記とは何ですか？</p> <p>解答 仕訳をもとに、各勘定口座に取引の日付と金額を記入する 手続。</p> <p>問3. 仕訳帳とは何ですか？</p> <p>解答 すべての取引を発生順に記入する帳簿で、取引と総勘定元帳 をつなぐ役割をもつ。</p> <p>問4. 総勘定元帳とは何ですか？</p> <p>解答 すべての勘定口座を集めた帳簿で、貸借対照表と損益計算書 を作成するときの資料となる大切な帳簿</p> <p style="text-align: right;">◀◀ STOP PLAY MENU</p>